

屋外からの虫対策 秋は歩行虫が多い!?



October. 2019 vol. 118

発行所 / 株式会社環境サービス 技術グループ
発行人 / 山本幸弘
編集人 / 井上富子
愛知県岩倉市鈴井町中島96番地
〒482-0035 ☎ 0587-66-6218
✉ gijyutsubu@fujikankyo.co.jp

PICK OUT
今月のペスト



トビイロウンカ



新版原色作物の病害虫診断より

水稻の害虫であるトビイロウンカが、今年は記録的な発生となっている。梅雨期にジェット気流に乗って中国大陸から飛来し、イネの坪枯れを引き起こす。各県の注意報や警報の発令数は延べ24件で、大発生で米の作況指数が低下した2013年を上回った。工場のトラップでも総じて捕獲される飛来侵入虫であるため、今年により注意が必要である。

歩行侵入虫対策に インセクトガード パッキン

風が涼しくなり、段々と秋の訪れを感じられる季節になってきたが、9月～11月にかけては、虫が越冬場所や餌を求めて活発に動き回る時期である。今回はこの時期に多い歩行虫とその対策について紹介したい。

コオロギ

きれいな音色で秋の夜長を演出し、秋の風物詩のように思われるが、その一方で、工場や倉庫に侵入する害虫でもある。コオロギ科の一種であるエンマコオロギは、年一化性で、移動能力の高い成虫が8月～11月頃に出現する。そのため、この時期



粘着トラップに捕獲された歩行虫。

に倉庫や工場の入口付近に設置されたトラップでは、粘着面が埋まってしまうほど捕獲されることもある。また、コウチュウ目のオサムシ科も秋に成虫が出現する種類が多いので、秋は屋外からの侵入に特に注意が必要である。

ゴキブリ

ゴキブリの大部分は屋外の枯れ木や落ち葉の下に生息している。中でも粘着トラップで捕獲の多いモリチャバネゴキブリは屋外性で、基本的に住環境には生息しない。また、衛生害虫の代表

格であるクロゴキブリも屋外に多数の個体が生息している。毎年屋外から侵入するので、屋内発生だけを考慮して防除するのではなく、侵入経路を考えた駆除が重要である。

対策

歩行虫の侵入が多くなると、製品を直置きした際に表面に付着、汚染したり、隙間から中に入り込んでしまふなどの問題が起きる。防虫対策の基本は「物理的対策」、「化学的対策」、「環境的対策」の3つの方法である。

【物理的対策】

工場の点検をしていると、屋外に面する前室の重量シャッター下部に隙間が開いていることがよくある。まずこの隙間を防ぐことが基本だと言える。隙間防ぎ用の資材にはインセクトガード・パッキンという商品がある。これを座板に取り付けることで、隙間をなくすることができる。

【化学的対策】

殺虫剤などの薬剤を散布する対策。屋外に生息する虫を駆除することで工場内に侵入する虫を減らすことができ。使用する薬剤の種類、発生源の特

定など、専門家でないとなかなか難しい部分もあるため、防虫業者に相談してほしい。

【環境的対策】

虫の発生・生息しにくい環境を作る対策。工場の裏側などに廃材や除草後の枯れ草が放置されているのを見かけることがある。これらの廃材は虫の発生源・生息場所になるので、廃材は建物からできるだけ離れた場所に置き、早めに処分する。

最近、目に見えて歩行虫の捕獲数が増えていますか？歩行侵入虫が多くてお困りの際は、これ以外にも様々な手法をご提案させていただきます。一度弊社までご相談ください。

秋に鳴く虫の音域

人間は、数十ヘルツから三万ヘルツくらいまでの音が聞こえると言われている。秋に鳴く虫の鳴き声を測定してみると、カンタンは二千ヘルツ、スズムシは四千ヘルツ、コオロギは五千ヘルツ、キリギリスは八千ヘルツ以上のものが多く、一万ヘルツ以上になると耳鳴りのように感じる。耳が老化すると六千ヘルツくらいから聞こえなくなるといふ。この音がちょうどカネタタキの鳴き声である。

気になる用語の豆知識

HACCP

義務化？制度化？

食品衛生法が改正され、今まで頻繁に使われていたHACCPの義務化からHACCPの制度化という言い方に変わってきましたが、義務ではないので少し強制力が弱まったのではないかと話を聞くことがあります。そこで今回、制度と義務の意味を調べてみました。制度とは：制定された法規。国の掟(おきて)。義務とは：法律主体たる人に課せられる法的な拘束。(出典：広辞苑)と書かれています。要するに国が制定したHACCPに関する法律が今回の制度化であり、それを食品事業者等が従うべきとされることが義務化ということになり、立場による違いであって意味合いとしては同じことを言っていると思われる。

また、自治体HACCPは今後どうなるのかという話も聞きます。説明会では、「地方自治体における認証制度については、管内事業者における衛生管理の向上のため、それぞれの自治体において独自の基準や要件で設置しているもので、今後のHACCPの制度化の状況を踏まえ、各自治体において活用の仕方を工夫するものと考えます。」との見解を示しています。そこで今回、主だった自治体に今後の方針について聞いたところ、北海道は中身の変更はあるものもの認定制度そのものは継続していくとのことでした。また、東京都は、専門委員会を開催し、今後のあり方を検討しているところとのことでした。なお、埼玉県、愛知県、名古屋は、食品衛生法の政省令が公布され、改正内容が固まった後、検討に入ることと現段階では、まったくの白紙の状態とのことでした。

運動会の季節ですね。なんと私が市民体育祭のリレーの補欠選手に選ばれてしまいました。出番が無いことを祈るばかりです。本紙に関するご意見・感想をお待ちしております。(とみ)

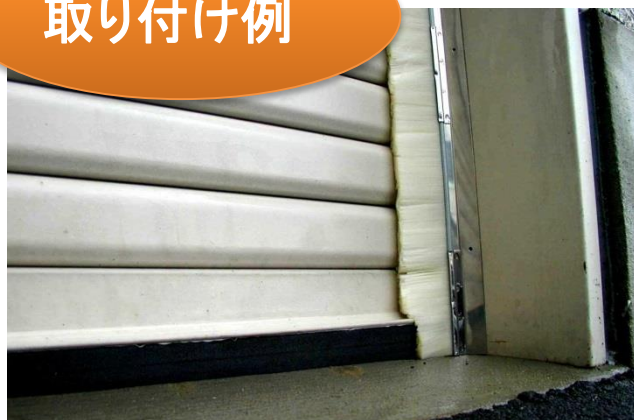
インセクトガードパッキン

特長

- ☑弾力性に富み高い密着性を確保！
- ☑両面テープなどで簡単に取り付け可能！
- ☑水も埃も光漏れも防ぐ！



取り付け例



現場に合わせたオーダー品もあります。

なぜ虫は隙間から侵入するか？

人間の目にわずかに数ミリの隙間でも、小さな虫にとっては十分な大きさの出入り口になります。わずかな建物の隙間から虫の誘引要素となる暖かい空気・臭い・明かりなどが洩れ、接近した虫はそれを逆探知し隙間より虫が侵入します。



 隙間から入る落ち葉もシャットアウト！ 

 株式会社フジ環境サービス

本社 〒482-0035 愛知県岩倉市鈴井町中島 96 番地

北陸 〒921-8012 石川県金沢市本江町 9 番地 14 号
サンバード金沢ビル 202 号



ISO9001認証取得／本社・名古屋営業所適用

TEL.0587(66)6218 FAX.0587(37)7768

TEL.076(287)3971 FAX.076(287)3972